



育生小だより

NO. 5

令和3年5月19日

学校教育目標 【自ら学び 心豊かな 健康でたくましい子の育成】

☆全国学力・学習状況調査が行われます☆

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった全国学力・学習状況調査ですが、今年度は令和3年5月27日（木）に実施予定となっています。この調査は、文部科学省が以下のように実施するものです。

【調査の目的】

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【調査対象】

国・公・私立学校の小学校第6学年、原則として全児童対象

【調査内容】

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容はそれぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
 - ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、さまざまな課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等
- 調査問題では、①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ① 児童生徒に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- ② 学校に対する調査
指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

【時間割】

1 限目国語（45分） 2 限目算数（45分） 3 限目児童質問紙（20～40分）

【調査結果等の集計・分析・提供】

- 集計・分析
 - ・国全体、各都道府県、地域の規模等における調査結果を公表
 - ・児童生徒の学習環境や生活習慣、学校における指導や教育条件の整備状況等と学力の相関関係を分析、公表
- 提供（各教育委員会、学校に以下の調査結果を提供）
 - ・児童生徒の正答数分布図
 - ・設問別正答率、無解答率、類型別解答状況
 - ・質問紙調査の結果
 - ・各児童生徒に提供する「個人票」 など

【調査結果の活用】

- 把握・・・全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握
↓
- 検証・・・調査結果を分析し、教育の成果と課題などを検証する
↓
- 改善・・・教育及び教育施策の改善に結びつける

※ 学校は個々の児童生徒の課題に応じた指導の改善に向けた取組を推進します。

☆みえスタディ・チェックも行われます☆

児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育むこと等を目標に、令和3年度第1回みえスタディ・チェックも同じ日に実施します。

【実施対象】

小学校第4学年、第5学年 原則として全児童対象

【実施教科】

第4学年・・・国語、算数

第5学年・・・国語、算数、理科

【実施時間】

第4学年・・・1教科20分

第5学年・・・1教科45分

【出題範囲】

各実施対象学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とする。



- ◎ どちらも児童の学習内容の定着状況を把握し、個に応じた指導を充実させ、できなかつたことができるようになることを目指しています。